

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第14号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成22年1月19日（火） 15時55分ごろ	
発生場所	石川県金沢港西防波堤灯台の北方約300m付近 （概位 北緯36°38.8′ 東経136°36.0′）	
事故等調査の経過	平成22年1月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート おじゃる丸、5トン未満（長さ7.25m）	
船舶番号、船舶所有者等	244-10511石川、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長が乗り組み、平成22年1月19日15時20分ごろ、金沢港を発し、機関整備終了後の海上試運転を目的として、港内から防波堤を経て港外に向かった。</p> <p>15時55分ごろ、主機の運転音が異常となり、船長は直ちに主機を停止し、機関室を点検したところ、同室の底部周辺が浸水しているのを認め、15時57分ごろ救助を要請した。</p> <p>本船は、16時25分ごろ、救援船にえい航され、17時10分ごろ帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：穏やか</p>	
その他の事項	<p>油の流出はなかった。</p> <p>浸水量は、約300ℓであった。</p> <p>主機冷却海水系統に取り付けられていたドレンプラグ（清水冷却器と排気管との間）が、消失していた。</p> <p>同プラグは、ねじ部の外径が12mmで長さが30mmの真ちゅう製であった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、海水系統のドレンプラグが外れたまま主機が運転され、海水がプラグ孔から放出されたものと考えられる。</p> <p>ドレンプラグは、機関の振動などで緩んで脱落したか、または、機関整備終了時に取り外されたままとなっていた可能性があると考えられる。</p> <p>主機を始動したのち、機関点検が適切に行われていれば、ドレンプラグからの浸水に気付き、本</p>

	事故の発生を防止できたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が金沢港沖で機関整備後の海上試運転で航行中、主機冷却海水系統のドレンプラグが脱落したため、機関室に海水が流入したことによって発生したものと考えられる。